

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学ぶ 豊かで たくましい生徒

黒西中だより



TEL 048-768-5454

心のホット相談室 TEL 048-764-1110

<http://kuronishichu.style.cocacn.jp/>



第 7 号

令和 7 年 1 2 月 1 日

生徒数		
1 年	6 8 名	2 学級
2 年	8 3 名	3 学級
3 年	8 3 名	3 学級
4 組	3 名	1 学級
5 組	3 名	1 学級
合計	2 4 0 名	10 学級

第 4 2 回黒浜西中学校運動会～3つのできごと～

短い秋が過ぎると、日没の時間も一層早まり、本格的な冬の到来を感じる季節となりました。三年生は進路選択に向けて一層学習が中心となった学校生活を、一・二年生は自分達が実質的に学校を動かすことになった学校生活を一生懸命に過ごしています。

10月11日（土）に運動会を開催しました。昨年度まで9月の第2週に行っていた運動会ですが、猛暑を避けるために10月の第2週に動かしました。その甲斐あって酷暑の中の運動会を心配することがない点では安心していました。2週間天気予報では、晴れや曇りの予報で天气的にも最高だと思っていました。しかし、突如発生した台風22号及び23号のために皆様もご存じの通り、10月11日（土）は朝から小雨がばらつき、ねずみ色の雲が広がり晴れ間が期待できない、肌寒い天候でした。

「今日やれるところまでやる。」それが教員の気持ちであり決行しました。生徒達も同じ気持ちだったと思います。時折、小雨が降る中、予定通り開会式を始めました。通常であれば半袖・ハーフパンツでの開会式ですが、長袖・長ズボンのジャージ着用可とし、雨の中、来校いただいたご来賓の方々や大勢の保護者や地域の方々に見守られながら、開会式を始めました。選手宣誓の声が校庭に響き、生徒達の高揚感も一層高まり、競技へと突入しました。

私が感動したことを3つ挙げます。一つ目は、悪天候にもかかわらず全生徒が全力で競技や演技に臨んだことはもちろんのことですが、「人生山あり谷あり」という障害物レースで平均台に上って最後まで渡り終えるという種目があります。平均台の脇で待機している担当の係の生徒が1レース終わる度に小雨に濡れた平均台の表面を雑巾で一生懸命に拭いていたことです。全選手が渡り終えるとすぐに、次のレースが始まる短い間に一生懸命選手の足が滑らないようにと拭いてくれていました。ありがとうございます。

二つ目は、途中雨脚が強まり競技を中断した時のことです。各クラスのテントの下で生徒達は待機していました。5分経っても雨脚は変わりません。数名の教員で雨雲レーダーで雲の様子を観察しながら様子を見ていました。なかなか判断が難しいところです。放送係の生徒が「会場のみなさま、もうしばらくお待ちください。」とアナウンスをしてくれています。15分くらい過ぎた頃でしょうか。雨脚もやや弱まり再開の決断をしました。放送係の生徒がマイクで「大変お待たせいたしました。それでは競技を再開します！」と告げると、生徒達が待機しているテントから「やったあ～!!」という歓声が起こりました。生徒の運動会にかける熱い思いを感じることができました。ありがとうございます。

三つ目は、「みんなでジャンプ」です。これは学級対抗大縄跳びで制限時間の5分に何回連続して跳べたかを競う競技です。時間内に跳ぶことがルールですが、最後だけは時間がオーバーしてもひっかかるまで跳び続けていいルールとなっています。やがて競技が始まり各学級で「せ～の! 1, 2, 3, 4, 5・・・」と全員で声をかけ合う姿が見られ、やがて5分終了の合図。いくつかのクラスが飛び続けていましたが、やがて3年生の1クラスだけが飛び続けるという状況になりました。「・・・36、37、38・・・」クラスの声が続きます。かなりの回数となりましたが安定した跳躍です。すでに終わってしまったクラスは体育座りでそのクラスに注目していましたが、自然とそのクラスの回数のかけ声と一緒に回数を一緒に数え始めました。そしてその声がだんだんと大きくなりました。最後には全生徒で回数を数えていたのではないのでしょうか。そこには敵も味方もなく、全員で最後まで残った3年生のクラスを純粋に応援する黒浜西中生の姿がありました。跳躍が終わると見学していた保護者や地域の方々の拍手も加わり、校庭全体がそのクラスへのさらなる大きな拍手に包まれました。ありがとうございます。

こうして第42回黒浜西中学校運動会は、雨天のために部活動抵抗リレーを割愛しましたがその他の全種目・演技を肌寒い天気とは裏腹に熱気の中に終えることができました。悪天候での実施ということで反省すべき点があったかと思えます。この場でお詫び申し上げます。次年度は天候もすばらしい運動会になることを祈ります。

保護者の皆様、地域の皆様、今後も、本校の教育活動に対して、変わらぬご理解とご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。